

ル豫定ナリ

水道ノ警備計畫ニ就テハ

大津取入口	職夫 二名	内臨時増一名
藤尾(疏水中間開渠ノ場所)	職夫 二名	内臨時増一名
蹴上ダム	職夫 三名	
蹴上浄水場	吏員三名	職夫三十二名
	夜 吏員一名	九名
		内臨時増三名
白河口水路	白河口職夫二名	
	若王寺 二名	晝夜交代 計 八名
松ヶ崎浄水場	吏員三名	
	夜 一名	職夫 十四名
		六名
西山配水地	職夫 二名	臨時増三名
	夜 一名	

市當局ノ計畫トシテハ右人員ノ外警察官ヲ左ノ通り配置スル様交渉ノ希望ヲ有セリ

蹴上 三名  
 水路 三名  
 松ヶ崎 二名

小官浄水設備視察ノ結果ニ依レハ松ヶ崎浄水場導水路中北白河口ヨリ以南蹴上ニ至ル間約三十町中若王寺以南ニ二ヶ所ノトンネルアルノ外ハ開渠ニシテ殊ニ若王寺以東ハ人家多ク鹿ヶ谷法然院町ヨリ若王寺ニ至ル間ニ木製伏樋ヲ以テ下水ヲ上水路上ヲ横断セシメタルモノ十七ヶ所アリ内大豊神社前ノ一ヶノ設備完全ナルモノ、外一二ヲ除キテハ悉ク漏水シ下水ハ上水路中ニ流入シツ、アリタルヲ以テ取り敢ヘス漏水防止ノ方法ヲ講スル様府當局ト打合せ置キタリ猶ホ京都市ハ御大禮中ヲ前記ノ如ク四

名ノ職夫及三名ノ警官ヲ以テ警戒スル豫定ナルモ同水路ハ屈曲多ク警備手薄ノ惧ミアルモノトス  
 飲食物及飲食物用器具等ノ取締ニ就テハ府廳技術員約二十名ヲ以テ嚴重實行シツ、アリ十月十五日以降ハ各營業者殊ニ旅店等ニ對シ臨檢ヲ實行シツ、アリ成績ハ一般ニ良好ナルカ如キモ取締規則違反中注目スヘキハ一部清酒ニ防腐劑取締規則ノ違反比較的多カリシコトナリ

京都市ノ水道ニ關スル復命

昭和三年十月三十一日

内務 屬 小島 敬三郎  
 同 笠間 徳次郎

京都市水道ハ二系統ニ分レ一ハ琵琶湖第二疏水ヨリ(蹴上浄水場附近)三十六吋鐵管二條ヲ以テ引水シ蹴上浄水場ニ於テ高速度(一晝夜四百尺)濾過方法ニ依リ濾過シ配水池(高區、低區)ヨリ市内ニ配水シ、一ハ東山ノ山麓ヲ巡ル疏水分線ノ流水ヲ白川道横斷箇所附近ヨリ内徑五尺ノ鐵筋混凝土管ヲ以テ引水シ松ヶ崎浄水場ニ於テ緩速濾過方法(一晝夜二十尺)ニ依リ濾過シ更ニ鹽素滅菌ヲ行ヒ市内ニ配水ス而シテ水質ハ毎日市衛生試驗所ニ於テ檢査ヲ爲シツ、アルモ其ノ成績極メテ良好ナリ  
 蹴上浄水場ハ一日約二百五十萬立方尺松ヶ崎浄水場ハ一日約百五十萬立方尺計四百萬立方尺ノ給水能力ヲ有シ現在ノ給水所要量ハ最大一日約二百八十萬立方尺ヲ出テス餘力充分ナリ

給水普及狀況

元來京都市ハ井水清澄豊富ナル爲メ水道ノ普及良好ナラス井水ハ水溫及味覺ニ於テ水道水ニ勝レル點アリテ一層水道水ノ普及ヲ困難ナラシメツ、アルモ本市ノ如ク未タ下水道ノ施設ナキ地ニ於テハ下水ノ浸潤ニ依リテ井水ノ汚染ハ免レサル所ナルヲ以テ市ハ大體ヲ機トシ給水工事費ノ如キモ割引ノ方法ヲ講シ衛生組合ト協力極力普及ニ努メタル結果其ノ成績見ルベキモノアリ

尙鹿谷、鷹野、東三條、西三條、東七條、田中等ノ一部不良住宅地區ニハ新ニ共用栓四十基ヲ設置シ其ノ使用ヲ獎勵シツ、アリ  
 水道ノ管理

蹴上浄水場水源ハ琵琶湖ヨリ蹴上浄水場取入口迄ハ殆ント墜道ニシテ危險物ノ介入ヲ容サ、ルモ疏水取入口及浄水場取入口上流ノ水量測定所其他警戒ノ必要アル個所ハ十一月一日ヨリ水道吏員及警察官ヲ配置シ晝夜警戒ノ計畫ヲ爲セリ(疏水取入口附近ノ警戒ハ滋賀縣ニ依頼)

浄水場従業員ノ保健狀況ハ良好ヲ持續シツ、アリ健康診断ハ約一ヶ月前一回行ヒタルノミナルヲ以テ十一月三日迄ニハ尙一回健康診断ヲ爲ス豫定ニシテ新ニ採用スル豫備員モ健康診断ヲ爲シタル後ニ非サレハ採用セサルコト、セリ尙水質試験表ハ毎日衛生局出張所ニ報告スヘキ筈ナルモ報告無キヲ以テ注意ヲ促シ置キタリ

三重縣、愛知縣、京都府ニ於ケル乳肉、畜犬、化製場及畜舎取締狀況視察復命

昭和三年十一月一日

内務技手 喜 島 兼 志

三重、愛知、京都ニ於ケル本件視察事項中事務規程、人員配置及豫算等ニ關シテハ關係府縣施設記事ニ譲リ又之カ關係者ノ健康診斷等ハ其ノ専門調査アルヘキニ依リ右重複ヲ避ケテ専ラ乳肉、畜犬、化製場及畜舎取締方面直接ノ施設ニ就キ視察及打合せノ狀況ヲ記載スヘシ

行幸啓直接關係事項トシテ御料牛乳ハ三重、愛知ヘ御料肉ハ三重、愛知及京都共ニ御下命アリタル趣ニテ各地既ニ其ノ納入關係者ノ嚴選ヲ了シタリ、之カ施設ニ就テハ孰レモ最善ノ注意ヲ拂ヒ所要設備ノ如キハ着々整備シツ、アリ御料牛乳ニ就テハ特ニ細菌數ノ僅少ナルヲ目標トシ豫行演習ノ實施方ヲ打合シ、御料肉ニ就テハ肉ノ検査精選ハ勿論適當ノ釀酵度ノ肉ヲ納入スヘク屠殺日ニ關シ打合セノ結果各地共納入前略々五日乃至七日内ニ屠殺ノ見込ナリ

畜犬ノ取締ニ就テハ大體關係各府縣共ニ本年中二回(七月及十月)ノ狂犬病豫防週間ヲ實施シ成績良好ナルモ特ニ行幸啓ニ際シテハ御通過沿道其ノ他關係隣接地域ニ於ケル畜犬ヲ緊留セシムル計畫アリ

一般衛生事項トシテノ乳肉、畜犬、化製場及畜舎取締ニ就テハ各地相當施設スルトコロアリト雖其ノ個々ノ實績ニ至リテハ猶奮勵ヲ要スルモノアリ就中右關係設備ノ如キ遽ニ完備ヲ期シ得サルモノハ處理方民ヲ以テ滿全ヲ期スルヤウ各打合セヲ了セリ

各地別視察狀況左ノ如シ

三 重 縣

甲 行幸啓關係事項

一、御料牛乳及「クリーム」ニ關スル事項

御料牛乳ニ就テハ豫テ宮内省ヘ照合シタルトコロ本縣ニ對シテハ御下命ナキ趣ナリシモ其後大膳寮關係ニ於テ一日一斗ノ御用アル趣通告(九月二十六日山田宮内書記官ヨリ)アリタル由ナリ

之ニ對シ縣ニ於テハ牛乳營業者ノ乳牛ニ就キ一般健康診斷及「ツベルクリン」應用ニ依ル結核検査並乳牛個體ノ乳質検査ヲ施行シ二ヶ所ノ營業所ヨリ四頭ノ乳牛ヲ豫選シ置キ之カ飼養管理ニ就キ嚴重監視中ナリ

而シテ御料乳ノ搾乳及取扱ニ就テハ特ニ縣費三二七圓餘ヲ以テ牛舎ヲ山田警察構内ニ新設シ其他牛乳取扱器具類ヲ新調スル計畫ヲ以テ之カ實施ニ就キ着々進行中ナリ

尙乳牛ハ納入數日前ヨリ營業者ノ牛舎ヨリ右縣ノ特設シタル牛舎ニ移シテ之ヲ繫養シ衛生技術員監督ノ下ニ搾乳其他ノ處理ヲナシ警察官吏警護ノ下ニ納入スル計畫ナリ

次ニ「クリーム」ノ御下命モアル趣ニテ之ニ對シテハ右施設ニ依リ搾取シタル牛乳ヲ原料トシ衛生技術員指導監督ノ下ニ調製ノ上納入ノ計畫ナリ

二、御料肉ニ關スル件

宇治山田市所在大西屠場(私設)ハ御下命ヲ豫期ノ上本年八月工費約一千圓ヲ投シ大改築ヲ行ヒ用器具等モ總テ改造完了セリ屠肉貯藏所モ屠場主(大西)ニ於テ特設シ在リ

屠夫其他屠肉ノ取扱ニ從事スル者ハ悉ク健康診斷ヲ行ヒ且腸チフス豫防注射ヲ終了シタル者ヲ選定ス尙納入ノ場合ハ御料乳ノ場合ト同様警察官ヲシテ警護セシムル計畫ナリ

本件視察當時迄ハ具體的ニ御下命ノ事實ナキ趣ナリシモ之ニ關スル準備ハ完成ノ域ニ達セリ

三、狂犬病豫防ニ關スル事項

七月及十月ノ二回狂犬病豫防週間ヲ實施シ一般畜犬ニ對スル豫防注射、整理、野犬掃蕩等ヲ實施シ特ニ山田署管内各市町村並行幸啓御通過沿道一里以内ノ地域ニ於ケル畜犬ニ對スル豫防注射、野犬ノ掃蕩ニ意ヲ用ヒ尙右地域ニ在リテハ行幸啓二日前ヨリ畜主ヲシテ繫留又ハ箠口具ヲ使用セシムル計畫アリ  
本年申ノ狂犬病發生數三頭(十月十七日迄)

乙、一般事項

一、屠場、屠畜及賣肉取締

訓令ヲ發シ本省ヨリ發シタル通牒ノ趣旨勵行ヲ圖リ居ルモ未タ屠場ノ設備管理共ニ十分ナリト稱シ難ク就中汚物汚水ノ處理不完全ナルヲ以テ之カ改善方ニ就キ當該關係者ニ打合併セテ衛生課長ニ十分希望ヲ傳ヘ置キタリ

尙乳牛ノ屠殺、時折行ハレノカ大多數ハ結核病竈ヲ發見スル趣ナルニ拘ラス之ニ對シ病畜屠室ヲ使用スルコト殆ントナキ事例アリタルヲ以テ當該技術員及縣衛生課ヘ注意ヲ促シ置キタリ

賣肉取締ニ就テハ本縣ハ比較的の店舗ニ於ケル販賣少クシテ行商多ク之ニ對應シテ臨檢回数ヲ増シ屠肉ノ置場及容器等ノ監視ヲ嚴重ニシテ併セテ防蠅裝置ヲ勵行セシメ異種獸肉ノ混賣防止ニ努ム。尙鳥肉及魚類販賣業ニ對シテモ亦右ニ準シ取締ヲ勵行セシム

二、牛乳搾取販賣及請賣業者ノ取締

牛舎及牛乳取扱所其ノ他ノ營業所内ノ清潔保持、乳牛ノ檢診、用器具類ノ清淨ヲ期シ取締ヲ勵行ス然レ共搾乳所ノ清潔方法完全ナラスシテ蠅ノ蛆集夥シク尙販賣牛乳ハ濾過不十分ナル事例アリタルヲ以テ當該技術者ヲ通シ驅除方法並濾過方法ノ改善方ヲ指示シ置キタリ

三、斃獸取締

斃獸支解場ハ行幸啓關係御通過沿道附近ニハ存在セサルモ一般賣肉取締ノ關係モアリ之カ監視方ニ就キ當該技術員ト打合ヲ

爲シ置キタリ

四、狂犬病豫防

三重縣ノ記事參照

愛知縣

甲 行幸啓關係事項

一、御料牛乳及「クリーム」ニ關スル事項

右ハ九月下旬ニ大膳寮ヨリ御下命ノ事實アリタル趣ナリ  
之ニ對シ縣ニ於テハ昨年大演習ノ際御料關係ニ供用シタル施設ヲ利用スルノ見込ヲ以テ既ニ營業者ノ精選及其ノ他ノ諸準備整ヘリ

尙右御料牛乳搾取豫定ノ營業者ノ牛乳ノ細菌數ヲ豫メ知リ度衛生課ト打合シタル處別表ノ通り一cc中二一〇乃至九七〇ナルヲ知レリ

二、御料肉ニ關スル事項

御料牛乳ト同時ニ大膳寮關係ニ於テ御下命アリタル趣ニテ本件、關係屠場ハ前項同様昨年大演習ノ際ニハ名古屋市營屠場ニ新設シタル繫留所及屠室ヲ供用スル見込ニテ之カ清潔方法ハ勿論同一構内ニ存スル一般屠室其他ノ場所物件ノ消毒的清潔方法ヲ實施ノ上御納入ノ數日前屠殺シ屠肉ハ特設ノ貯藏所ニ置キ衛生技術員及警察官警護ノ下ニ納入スル見込ナリ

三、狂犬病豫防ニ關スル事項

三重縣同様本年七月及十月ノ二回狂犬病豫防週間ヲ實施シタリ

畜犬ヲ繫留スヘキ制規今尙存積中ナル趣ニ付行幸啓ニ際シテハ一層之カ勵行ヲナス見込ナリ

乙 一般事項

一、屠場、屠畜及賣肉取締

屠場、屠畜取締ニ就テハ一層屠畜検査心得ノ勵行ヲ圖リ一般賣肉取締ニ就テハ衛生技術員及警察官吏ヲシテ一齊検査ヲ行ハシム

二、牛乳搾取販賣及請買業者取締

縣下一般牛舎及牛乳取扱所ノ消毒的清潔方法ヲ勵行セシメ視察回数ヲ増加スルト共ニ市販乳ノ乳質検査ヲ勵行ス

御料品納入表 (大膳寮關係)

品目	形様	十一月五日朝	十一月六日朝	十一月七日朝
牛乳	料理用	二升	二升	二升
牛ク	リ	二合	二合	二合
牛ロ	ース肉		八斤	
冷シ	氷	二個 追加アルベシ	八貫目	

納入期日ハ離宮ノ納入期日ヲ示ス

右ノ他侍醫寮關係ニ於テ一升五合ヲ三回ニ上納スヘキ御内命アル趣ニテ上納日時ハ目下不明(十一月五日判明ノ見込)

京都府

甲 行幸啓關係事項

一、御料肉ニ關スル事項

京都市營屠場ニ御料肉關係屠室ヲ特設シ目下工事中ニ屬スルモ十月末日迄ニ竣工ノ見込ナリ屠場率入前ノ屠畜ノ繋留場ハ御料肉納入者ニ於テ屠場門前ニ新設シ屠殺ノ數日前ヨリ此處ニ繋留シテ健康其ノ他ニツキ衛生技術員ノ指揮ヲ承ケ之カ厳選ヲナスモノトス

本件屠場設備一般ニ付テハ十月末日迄ニ大掃除ヲ實施スルヤウ府市當事者ト打合ヲナセリ

御料肉納入マテノ取扱經過ハ大要左記ニ依ル

御料肉關係施設

屠場

- 一、屠室ヲ特定シ普通作業ハ時間ヲ異ニシ屠夫ハ品行方正技術ニ熟達セルモノ三名ヲ選定ス
- 二、作業ニ従事スルモノハ就業前清潔ナル作業服ト着替ヘ手指ハ酒精消毒ヲ行フ
- 三、御用牛ハ年令生後五才迄ノ畜牛ニシテ體格中等肥壯状態良好ニシテ毫モ病徴ナキモノヲ選定シ牛體ノ手入ハ特ニ充分ナラシメ體及四肢並蹄ヲ洗滌シ一時間以上休養セシメ生體検査ヲ行ヒ新築屠室ニ牽入屠殺セシム
- 四、屠殺後ハ放血ヲ充分ナラシメ臓器ノ内容物ハ毫モ漏洩セシメサル様注意セシム
- 五、屠肉ヲ清拭スルニハ一旦煮沸セル熱湯ニ浸漬シタル白布ヲ用ヒ仕上後之レヲ四分體トナシ肉検査後消毒セル白布ヲ以テ包ミ運搬シ冷蔵庫ニ貯藏セシム

屠畜業者

- 一、御用肉取扱所ハ別ニ之レヲ設ケセシメ採光換氣ヲ充分ナラシム内部設備トシテ俎及肉懸吊架ヲ備ヘセシム
- 二、御用肉上納容器ハ金屬製長方形ノモノニシテ底部ニ金屬製ノ小格子ヲ敷キ其上ニ御用肉ヲ消毒白布ニ包ミタルモノヲ容ル、装置トス
- 三、御用肉取扱人ハ技術熟練セルモノ一名ヲ特定セリ
- 四、御用肉取扱人ハ取扱ニ際シテハ必ス體ヲ清拭シ手指ハ酒精消毒ヲ嚴行セシム
- 五、御用肉取扱中ハ係員ハ白衣白帽ヲ着シ且ツ呼吸保護器ヲ使用セシム
- 六、御用肉ノ出入ニハ必ス監督官ノ指揮ヲ受クルコト
- 七、御用肉ハ冷蔵庫ニ貯藏セルモノヲ出シ先ツ所要ノ各部ヲ切離シ更ニ俎上ニ於テ腱、膜、筋及過饒ノ脂肪ヲ切除シ浸潤セル肉汁ハ消毒ガーゼヲ以テ充分拭除シ上納容器ニ收メ上部ハ消毒セル白布ヲ以テ包ミ上納セシム
- 八、作業用器具類ハ使用前必ス熱湯ニテ洗滌シ酒精消毒ヲ施シ乾燥後之レヲ使用シ使用後ハ直ニ亦熱湯ヲ以テ洗滌セシム

九、御用肉取扱用ノ白布ハ凡テ熱湯ニテ洗滌シ乾燥シタル後使用セシム

一〇、御用肉ニ接觸スル總テノ物品ハ直接間接ヲ問ハス酒精消毒又ハ熱汽消毒ヲ行ハシム  
目下判明セル御料納入日及部分左ノ如シ

御料肉納入部分及量(十一月十五日)

ヒ	四斤ノモノ	五本
レ	三斤半ノモノ	五本
同		參貫
ス		貳斤
ズ		

御料鶏肉鶏卵

右ハ府立農事試験場及當業者ニ於テ次ノ如ク納入ノ豫定ナリ

若	鶏	一〇四羽	當業者
爪	鶏	一〇四羽	當業者
肥	肉 鶏	四〇羽	農事試験場
鶏	卵	二、四五〇個	供御用
		大養用	一、八五〇 當業者
			農事試験場 當業者

鶏肉ハ解體セスシテ納入ノ見込ナリ、之カ納入ニ就テハ京都府技術員ト打合セノ結果鶏ノ健康肉ノ精選取扱等ニ就キ京都府技術員ノ監視ノ下ニ實施スル計畫ナリ

二、皇族及大饗宴關係牛乳

御料牛乳ニ就テハ直接宮内省ニ於テ施設スル趣ニテ皇族及大饗宴關係牛乳ハ夫々各御内命アルカ又ハ御料理人ニ於テ自由ニ選定セラル、結果(先例ハ宮内省ニ於テ一括シテ一營業者ニ御内命アリタリト謂フ)京都市内外ノ約二十個所ノ搾乳所ヨリ

納入セラル、見込ナリ

右ニ對シテハ京都府ニ於テ略々次ノ要領ニ依リ取締ル方針ナリ

皇族及大饗宴關係牛乳取締方針

一、乳牛

イ、輕症疑症共ニ結核牛ヨリ搾乳シタル乳汁ヲ使用セシメサルコト(勿論牛乳營業取締規則第五條ノ牛ヲ除ク)

ロ、二産以上五産以下ノモノ

ハ、泌乳期ノ中期ニアルモノ

ニ、乳質ハ一日分ノ乳汁ニ付キ検査ヲ行ヒ各組成分ハ法定ノ組成ヲ有スルモノ

ホ、結核検査ハ既ニ畜牛結核病検査ヲ施行シタル地域(一ヶ月以上經過シタルモノヲ除ク)ニアリテハ其ノ成績ニヨリ其他

ノ地域ニアリテハ眼反應ニヨリタツヘルクリン反應ヲ應用シ之レニ臨床検査ヲ併用シ支障ナキモノ(正式ニ法定検査ヲ爲スヘク交渉中)

ヘ、乳牛撰定ハ以上ノ事項ヲ具備シタルモノヨリ更ニ一般的健康診斷ヲ施シタルモノヨリ撰定ス但以後一週一回健康診斷ヲ行フ

二、乳汁ノ搾取及取扱

イ、搾取及取扱従業者ハ白衣白帽マスクヲ装ス

ロ、牛體ノ飼養管理特ニ飼糧ノ品質ヲ吟味シ牛體ノ手入清潔ニ充分注意スルコト

ハ、下腹部乳房ハ滅菌微温湯ヲ以テ充分拭ス

ニ、搾乳夫ノ手指ハ石鹼ヲ以テ清洗シタル後搾取ノ都度酒精消毒ヲ行フ

ホ、乳頭ノ搾乳一乳房ニ付約二合ヲ搾リ捨テルコト

ヘ、乳汁ノ取扱者ハ可成特定スルコト

ト、乳汁ノ濾過ハ金巾ノ二層間ニ脱脂綿ノ一層ヲ挿入ス

チ、乳汁ノ取扱用器具ハ總テ新調シ上納器具ハ各個専用トス  
 リ、上納用具一切ハ熱汽消毒ヲ行フ  
 ス、乳汁ノ消毒温度ハ攝氏七十度ニ三十分間加熱ス

三、設備

- イ、使用水ハ水質検査ヲ行ヒ優良ナルモノヲ撰フ（上水道ヲ除ク）
- ロ、取扱室、牛舎其他ノ諸設備ハ特ニ清潔ニ注意スルコト
- ハ、従業員ノ健康ニ充分注意スルコト
- ニ、牛乳ノ取扱ハ別室ヲ設ケ得ル限リ之レヲ設クルコト若シ能ハサル場合ハ一般市乳取扱ノ中間ニ於テ之レヲ取扱フ
- ホ、乳牛ハ牛舎ノ一部ニ集團シテ飼養管理ス
- 三、狂犬病豫防ニ關スル事項

七月及十月ノ二回豫防週間ヲ實施セリ

行幸啓ニ際シテハ停車場、御苑ノ周圍一丁以内及御通過沿道筋左右二丁以内ニ於テ畜犬ヲ其前日ヨリ御通過後御所入御時刻  
 マテ繋留セシムル計畫アリ

乙 一般事項

若々進捗中ニ屬ス

牛乳ノ移入セラル、モノ、中不潔ニシテ特ニ注意ヲ要スヘキモノアルヲ以テ右關係移入先タル滋賀縣へ赴キ搾乳所ノ清潔及牛  
 乳ノ取扱不適當ナル個所ヲ視察ノ上夫々同縣衛生課ト打合セ取締ノ勵行ヲ促シ置キタリ  
 屠場、屠畜鳥獸肉販賣營業、牛乳搾取並販賣營業取締ニ就テハ京都府訓令ヲ發シ現場、店舗ノ臨檢回数ヲ増シ殊ニ現品ノ品質  
 検査ヲ屢々實施スル結果漸次良好ナル成績ヲ見タリ、畜舍取締ニ就テハ家禽ニ關スル府令アリテ之カ勵行中ナルモノ一般畜舍ニ

適用ナキヲ以テ京都市内外一般畜舍ノ清潔保持ニ就テモ打合セノ上希望ヲ述ヘ置キタリ

京都、大阪、奈良、三重、愛知ニ於ケル御大禮ニ關スル豫防衛生施設ニ關スル復命

昭和三年十一月五日

一、京 都 府

防疫官兼内務技師 佐藤 正  
 内 務 屬 伊藤 健

癩

浮浪患者一齊取締。九月二十三日及十月二十一日ノ二回ニ亘リ各警察署共一齊取締ヲ施行シタルニ、九月二十三日ニハ常時  
 十名内外ノ患者屯スル鳥邊山ニテ、三名發見セルノミニシテ伏見稻荷（七八名常住）及桃山警察署管内（御陵ノ附近ニ四五  
 名ノ常住地アリ）ニ於テハ一名モ發見セス、右三名ノ内一名逃走シ二名ヲ療養所ニ送致セリ。  
 十月二十一日ニハ、二名發見シタルヲ以テ目下療養所送致ノ手續中ナリ。

尙第三回目ヲ十一月陛下御着五日前ニ施行ノ見込ナリト云フ。

其他京都市内ノ寺院、法會（例ヘバ東寺ノ法會ノ如キ）ニ際シテハ常ニ十名内外ノ患者ノ徘徊スルヲ常トスルモ幸ニ目下斯  
 カル状態ナシ。

京都市一時救護所ノ擴張 市ニ於テハ一時救護所ヲ擴張シ現ニ十九名ノ收容設備アリ。

癩患者ガ集團ヲ爲シ京地ヲ徘徊セムトスルカノ風聞ニ付テハ前記ノ如ク患者ノ少數ナル事等各般ノ狀勢ヨリ察スルニ無之キ  
 見込ナリト。

精神病

檢診 私宅監置患者ニ付九月三日ヨリ専門醫（京大醫員 近藤直人）ヲシテ視察セシメ監置方法等ノ不良ナルモノニ付テハ警察部長ヨリ警  
 察署長宛改善方通牒シツツアリ。

非監置患者ハ特別高等警察課ノ主管ニシテ常ニ衛生課ト連絡ヲトリ警察署ノ申請スルモノニ對シテハ檢診ヲ爲シ必要アルキ

ノハ入院セシム

入院患者ニ對スル措置 警察署長會議ノ結果未治輕快患者ニシテ退院スルモノ一ヶ月平均十三名強アリ、其ノ退院申出ノ際充分ナル檢診ヲ爲シ危險性アルモノハ諭示シテ退院セシメサルコトニ決定、隣接府縣トモ協調シ十月一日ヨリ實施セリ今ニ退院患者無シ。

要監置患者調査百八十一名アリタルモ漸次監置シ残り六十名モ十月末日迄ニハ全部監置ノ見込ニシテ病院ノ收容力モ充分ナリ。

豫算 五萬圓ヲ有ス。

視察 宇治町京都腦病院ヲ視察シタルニ院長病氣不在ナリシモ診療主任醫ニ面接ス、目下經營者側ヨリ利益ノ分配率ニ付交渉アルモ不條理ナル交渉ヲ斥ケ醫道ノ命ズル處ニ向ツテ進マントスル意氣旺ナルヲ見タリ、右醫員ハ學位ヲ有シ本院ノ創立ニ際シテハ經營ノ一人タリシコトアリ且氣魄ニ富ミ相當ノ人物ナリト認メラル、隨テ經營者側ニ多少ノ缺點アリトスルモ院務ニ影響スル處鮮ナカルヘシ。

病院ノ設備患者ノ所遇狀況等代用精神病院トシテ適當ナルモノト認メラル。

大禮施設トシテ、十月一日ヨリ夜警ヲ置キ將ニ消防隊モ組織スル計畫ナリ。

#### 花柳病

警察署長會議ニ於テ花柳病豫防法ノ施行ニ關シ指示スルト共ニ講演會活動寫真會ヲ開催シ市内業態者遊廓及組合等ニ對シテハ既ニ一巡セリ。

貸座敷營業者ノ活動組合ニ於テ豫防藥品、洗滌器具等ニ付見本品ノ蒐集其他種々考究中ナリ。

視察 祇園新地乙種貸座敷組合事務所ヲ訪問シ組合長ニ面會シ豫防方法ノ慣行、客室貼用ポスターノ掲出等ニ付懇談ヲ遂ゲ貸座敷業者ノ設備セル洗滌所ニケ所ヲ視察セリ。

豫防藥品ノ使用ハ漸次普及シツツアリト看取セラル。

#### 結核

檢診 本春一月ヨリ各種接客業者及行幸啓關係者十萬人ノ健康診斷ノ際併セ施行シ目下市部ハ完了、隣接町村ヲ施行中ナリ現下ニ於ケル檢診ノ成績

被檢者四萬七千三百人中法ニ依ル結核患者發見數十五名此等ノ患者ニ對シテハ夫々適當ナル處置ヲ講セリ。

市立宇多野療養所ハ七月増築完成、定員二百名トナレリ、中三十名ハ有料患者ヲモ收容スルコトトセリ。

トラホーム

檢診ノ狀況ハ結核ト同様ナルモ業態者自衛組合ニ於ケル自發的檢診ニ對スル處置ハ周到ニシテ發見セル患者ニハ治療券ヲ配付シツツアリ。

結核 理髮業者ノ組合ニ於テハ從業者自衛的檢診費ヲ組合豫算中ニ計上シツツアリ。

#### 二、大 阪 府

#### 癩

外島保養院ノ病舎増築工事完成シタルヲ以テ十月十八日附各警察署長ニ通牒スルト共ニ、一層同病者ノ取締ヲ嚴ニシツツアリ、療養所定員五百五十名中十月二十二日現在收容患者數四百五十五名ニシテ九十五名ノ餘力アリ。

市内東成區大今里ハ常ニ四十名位屯住スル處ナルモ近來九名乃至十名位ニ減少シタルノミナラス此内五名ハ療養所ニ入所スル筈ナリト云フ。

他ノ浮浪癩患者ノ巢窟タル今宮方面ニモ二十名位常住シタルニ最近一名モ發見セス。

尙最近療養所ニ收容シタル患者ニシテ逃走シタルモノ一名モナシ。

#### 精神病

大阪府下ニ於ケル精神病者數ハ本年八月末日現在ニテ、三千三百四十三名アリ、内千四百四十二名ハ病院ニ收容中ナリ。非監置患者ハ千八百四十五名、私宅監置患者ハ六十一名ナリ。

本病者ニ對スル視察取締ハ大禮警備上最モ緊要事ト認メ各警察署長ニ對シテ取締ノ完全ヲ期スル様通牒スル處アリ、尙十月二十日ヨリ二十二日ノ間ニ於テ府廳直接ニ第一回一齊視察ヲ爲シ之ヨリ大禮諸儀ノ終了迄間斷無ク視察取締ヲ爲ス計畫ナリ。

精神病關係トシテハ府立中宮病院ヲ視察セリ、收容定員三百人ニシテ目下滿員ノ狀況ナリ、大禮關係トシテ特ニ施設シタル事項ハ第一ニ夜警ノ充實ニシテ從來三人ナリシヲ現ニ六人ニ増員シ逃走、火災ニ備ヘ第二ニハ看護長四人ヲ一時間毎ニ交替シテ夜間病棟内ヲ巡視セシメツアルコトナリ。

本年ニ入りテ逃走シタル患者無シ。

花柳病

新法實施ニ際シ御大禮ノ關係モアリ大阪府ニ來集スルモノ多數アルベシトノ見込ヲ以テ花柳病ノ豫防ニハ特ニ注意ヲ拂ヒ娼妓及業態者ノ豫防治療ニ關シ協議會ノ開催、注意書四萬枚ノ印刷、醫師會トノ連絡及活動寫真應用ノ講習會ノ開催(三十二回開催)ヲ爲セリ。

娼妓ニ對シテハ検査方法ヲ嚴密ニシ從來難波病院ノ入院患者ハ六百人ナリシニ現ニ九百餘名在院スルノ狀況ナリ。

大阪府下ニ於テハ松島遊廓及飛田遊廓ヲ視察セリ、兩廓共組合事務所ヲ訪問シ取締ニ面接シタリ、松島遊廓ハ市内ノ公娼中比較的下級ノ労働者ヲ顧客トセル廓ニシテ現在約三千人ノ娼妓アリ、洗滌施設ハ既ニ、十年前ヨリ實施シ居リ豫防藥品ハ漸次普及シツツアリ、豫防宣傳ポスターハ目下作製中ニシテ洗場客室等ニ貼用スル見込ナリト云フ、尙豫防方法ノ實施及勵行ニ付種々注意懇談シ又方針等ヲ聽取セリ、同遊廓内ニ於テ洗滌所二ヶ所ヲ視察セリ。

飛田遊廓ハ百九十七戸、二千二百五十人ノ娼妓アリ、組合事務所ニ於テ取締ヨリ豫防方法實施ノ狀況ヲ聽取シ洗滌所一ヶ所ヲ視察セリ。

結核トラホーム

専務技師三名ヲ以テ公衆ニ接スヘキ法ニ依ル業態者ノ檢診ヲ專ラトシ目下施行中ナリ。

三、奈良縣

癩

六月五日外島保養院長ノ照會ニ依リ御大禮ニ關シ收容ヲ要スル癩患者ノ調査ヲ爲シタルニ、二名發見内一名逃走一名ヲ送致セリ、右ノ外四名ノ疑似患者ヲ發見、眞性ト決定セリ。

本縣ニ於テ集窟ト稱セラレシ生駒山、信貴山、及奈良公園ニハ、二三年來其ノ影ヲ見ス。

九月二十八日警察署長會議ノ際癩患者ノ取締ニ付方針ヲ指示シ浮浪徘徊ノ取締ニ努メ居レリ。

精神病

三月三十一日第一回トシ十月十二日迄ニ、五回ノ一齊取締ヲ爲シ九月十五日ノ第四回迄ノ成績ニ依レハ第一回ニ比シ監置患者二十名非監置患者二百二十八名ノ増加ニシテ一齊取締ノ要項左ノ如シ

一、病院又ハ私宅ニ於ケル監置患者ヲ御大禮終了迄監置廢止セサル様諭示スルコト

二、私宅監置室ノ調査、非監置患者ニ對スル注意

三、上書建白ノ癩アル非監置患者及病勢昂進セル危險患者ニ對シテハ十一月一日迄ニ全部監置ノ手續ヲ執ルコト尙御大禮ニ際シ一般警察官引揚後ハ各署ニ保安係員九十六名ヲ置キ左記ニ依リ取締ヲ爲サシムル見込ナリ。

監置、非監置患者ニ對シテハ毎日一回以上臨檢シ逃走又ハ外出ヲ阻止シ行方不明者ハ直ニ警察署ニ通報セシメ突發患者ニ對シテハ假監置又ハ檢束ヲ加フルコト。

市内、矢追某ト云フ精神病者ノ私宅監置室ヲ視察セリ、憂鬱症、明治四二、一、六生輕快セルモ脚氣ヲ併發ス實父監護ス無職ナルモ資産一萬五千圓アリ監護方法適當ナリ。

花柳病

豫防講演會ヲ縣下樞要地ニ於テ開催シ既ニ一巡セリ、此ノ效果ハ縣内既存ノ業態者保健組合ヲ刺戟シタルモノノ如ク同組合ヨリ「サツク」ノ購買ニ付申込ミ來リタルモノ二三アリ、豫防方法ノ實施ニ付テモ漸次普及ノ狀況ニアリ。



縣立娼妓病院ヲ視察セリ、定員約七十名現在收容人員十九名アリ、醫員一名ニシテ郡山娼妓病院ノ院務ヲモ兼務ス。結核トラホーム

行幸啓沿道ノ宿屋、料理店等接客業者ニ對シ醫師二人警察官一人ヲ以テ健康診斷ヲ施行中ニシテ十月末日終了ノ豫定。奈良市西ノ阪トラホーム治療所ヲ視察セリ、同診療所ハ明光寺ノ一室ヲ使用シ治療助手一人ヲ以テ洗眼其ノ他ノ治療ヲ爲ス毎日午後三時ヨリ治療ヲ開始シ一日約二百人ノ外來患者アリ。

四、三 重 縣

癩

外島保養院増築完成シタルヲ以テ癩患者送致方ヲ市長及警察署長ニ通牒ヲ發シ取締ノ結果現ニ九名送致セリ、自宅ニ於ケル癩患者ハ約百七十六名アリ全部ニ對シ注意濟ナリ。

精神病

御大禮關係ニ付テハ特別高等警察課主管ス、各署ニ、一名宛精神病者係ヲ置ク、危険性アルモノハ可成之ヲ監置スル方針ニシテ病者ノ移動ニ付特ニ注意ヲ拂ヒ家族ニ其ノ責任ヲ負ハシメツツアリ、殊ニ上書建白顯官訪問癪アル病者ニハ用具ヲ與ヘサル様注意セシム。

一齊檢索ヲ二回實施シタル結果第一回ニハ百七名、第二回ニハ六十七名ノ患者ヲ發見シ現在一千七百六十四人ノ患者アリ。宮川腦病院ト稱スル私立精神病院建築中ニシテ約五十人ノ收容設備アリ、立寄りタルモ主任者不在ニシテ要領ヲ得サリシモ構造及設備等ニ付ハ特ニ非難スヘキ點ヲ認メス因ニ本院ハ數日後開院スヘク其ノ準備中ナリキ。

花柳病

縣下ニハ、三十二ヶ所ノ遊廓アリ津市遊廓ハ從來ヨリ殆ント洗滌設備アリト云フ、去ル七月警察署長會議ノ際檢診其ノ他ニ付指示シ管下警察署ニ於テ檢診ニ關スル請書ヲ取リタル處既ニ、一二ヶ所アリ、豫防講演會ハ二三ヶ所開催シタルモ將來引續キ開催ノ豫定ナリ。

宇治山田市所在娼妓病院ヲ視察セリ、明治四十三年ノ建設ニ係リ建築古ケレトモ構内ノ清掃方ハ娼妓病院トシテハ寧ロ稀ナルヲ認ム、定員三十人現在患者十七人檢査ハ五日ニ一回施行ス。トラホーム

治療助手ニ依ル治療ハ不完全ニ流レ易キヲ以テ從來ノトラホーム治療ニ關スル縣費補助以外ニ新ニ專任技術者ヲ置ク様關係、町村ヲ督勵中ニシテ縣ニ於テモ之カ豫算ノ編成中ナリト。

五、愛 知 縣

癩

巢窟トモ稱スベキ處ハ殆ント無シ、浮浪患者ノ取締ヲ嚴ニシ自宅患者ノ消毒等豫防方法ヲ勵行スルト共ニ外出セシメサル様注意セシメツツアリ

精神病

各警察署ニ專任者一名ヲ置キ取締ニ任ス、非監置患者ハ保安課ノ主管タリ縣廳ヨリモ専門醫及警部補各一名ヲシテ巡視セシム。監護義務者ニハ責任ヲ以テ監護セシメ退院及監置廢止ヲ爲サ、ル様示達セリ。

視察シタル東山腦病院ハ現ニ入院患者百十九名醫師四人、看護人十三人アリ、本年三月現院長就任以來事故無シ、御大禮ニ際シテハ夜勤ヲ一人ヲ二人トシ、新聞ノ閱覽ヲ禁シ十一月ニハ室外運動ヲ爲サシメス又病室ノ鍵ヲ改造セリ。

名古屋腦病院ハ現在患者七十七人醫師三人看護人八人アリ、嘗テ患者逃走ノ厄アリタル箇所ノ窓ノ鐵格子ハ改造中ニシテ夜中特ニ非番看護人ヲ以テ警戒ヲ爲ス。

花柳病

講演會ハ新法實施後其ノ目指ス箇所團體ヲ大體一巡セリト、娼妓ノ檢査等從來通、市外旭遊廓内娼妓病院ヲ視察セリ、同遊廓ハ貸座敷百三十八戸娼妓千四百人。診療所ハ收容定員百五十人現ニ、五十人ノ收容患者アリ。「サツク」ハ樓主ノ負擔、

豫防薬ハ組合ノ負擔ニテ使用セシム、使用成績良好ナリ。

一般ニ「サツク」ヨリモ豫防薬ノ使用歡迎セラレ廊組合ニ於テハ專任藥劑師（元内務省東京衛生試験所勤務）ヲ備ヒ豫防薬ノ製造及之カ改良ニ關スル比較ヲ研究シツツアリ。

同廊内ニ旭療院ト稱スル組合ノ設立ニ係ル娼妓ノ一般疾患無料治療施設アリ一年ノ經費四萬圓。結核トラホーム

從來通ノ方針ニ依リトラホームノ檢診ハ已ニ一巡シ結核ハ年内ニ終了ノ豫定ナリト。

愛知、京都、滋賀、大阪ニ於ケル保健衛生狀況復命

昭和三年十一月六日

愛知 知 縣

内務技師 氏 原 佐 藏

愛知縣木下警察部長ハ御大典鹵簿ヲ奉迎スヘキ日ニ先スル五日、即チ十一月一日豫テ名古屋放送局ニ於テ御大典鹵簿奉迎ニ就テト題シ講演シ、交通遮斷、行幸ト名古屋驛、其ノ他一般奉送心得等ニ就テ簡明ニ説明セル所ノ要旨ヲ別ニ印刷ニ附シ一般ニ熟知セシムルコトトセリ

斯ク日數モ切迫セル今日名古屋市ニ於ケル諸般ノ衛生關係事項ハ最早ヤ間然スル所ナカルヘシト雖モ、鹵簿ノ名古屋御着ハ來ル六日午後三時三十分ニシテ、當日ハ御着車六時間間タル午前九時半、翌七日ハ離宮御發車ガ午前九時半ナルニヨリ四時五十分間前ノ午前五時ヨリ御道筋ハ大體ニ於テ交通遮斷サル、故ニ拜觀者殊ニ一般公衆ハ同時刻前ニ拜觀ノ位置タル、御道筋沿路、左右歩道ノ筵敷上ニ到着シ居ラザルベカラズ、雨天ナレバ尙更ナレド、晴天ト雖モ此ノ長時間ニ亘リテ尿意ヲ催サザルコトハ恐ラクナカルヘク、之ガ對策トシテハ左右民家ニ豫メ領解ヲ得テ便所ヲ公開スルコトトナシアルモ、露骨ニ之ヲ表示セバ直チニ充滿スルノ虞アルヲ以テ、アマリ露骨ニ宣傳セズ、使用ヲ申込ミ來リシトキハ之ヲ拒マザル程度ニ打合せ、夫等ノ各戸ニハ四鹽化炭素クレゾール混合液二瓶ヅツヲ配布シアリト、而シテ御通過後便池ハナルベク汲ミ取り、又筵ノ上ニ公衆ノ遺棄セル紙片等ハ掃除セシムルヨウ市役所ト協定濟ミナリトノコトナルモ、其ノ分量モ豫定困難ナルベク、當時六日午後七日朝

トノ時間ノ間隔少ナキヲ以テ處置大ニ敏速ヲ要スルコトナルベシ。

共同便所ハ御道筋ニ接シテハ一二箇所（十數間離レテハ二、三箇所）アルノミニテ別ニ假設便所ヲ設クル餘地モ少ナク實際上ヨリノ解決ハ其ノ日ニ迫ラザレバ能否モ斷定シ難カルベシ、市役所ハ特ニ此ノ爲メ人夫ハ配置ノ筈ナリト云フ。

京 都 府

一、中央食品市場ノ衛生狀況

京都市中央食品市場タルヤ、日本ニ於ケル最初ノモノニモアリ、主トシテ京都市當局ノミニテ計劃サレ、完成後商工省ニ於テ出來上リヲ見タル狀況ニテ、今夏小官視察當時マデハ其ノ衛生狀況混沌タルモノニテ心配ニ堪ヘズ、府衛生當局ヘモ意ノ存スル所ヲ傳ヘ、又市當局者ニ對シテモ一層改善サルベク希望スル所アリ、其後着々改善ノ實ヲ擧ゲントシ今日ニ至リ、今夏マデノ狀況ニ比スレバ雲泥ノ差アリト雖モ尙ホ二、三遺憾ノ點アリ、例ヘバ

1. 便所ノ水槽式ニ對シテハ使用心得ヲ記シテ壁ニ貼リ、且ツ賣場内ニ在ルモノヲ多クハ一時閉鎖スル等ニヨリ場内汚染ヲ防グントシアアルモ、便所外ニ在ル大形ノ方形ノ水桶中ノ水ハ未ダ非常ニ不潔ナリ。
  2. 生野菜、果實取引所ハ通路ヘマデモ荷物ヲ放置シ、其ノ爲メ掃除水洗ヒ等ハ行ハレ居ラズ。
  3. 汚水（尿・尿混合物ヲ含ム）腐敗槽通過後吸ヒ上グベキポンプハ二臺ノ筈ナルモ一臺ハ取ハヅシアリ、一臺ハ運轉ヲ休止シ居レリ。
  4. 野菜洗場ハ洗ヒ水ヲ水道栓ヨリ供給セザルベカラザルモ、之ヲナサズ、水溜リトナシ黄濁セル水中ニテ葱ナドヲ洗ヒ居レリ、之ハ市内、市外ニ完全ナル洗ヒ場ヲ設ケタル精神トハ反スルモノアリ。
- 要之ニ京都中央食品市場ニハ清洗用トシテ最モ必要ナル水ノ供給ガ少ナク、且ツ掃除監督モ多少尙ホ下ニ徹底セザル所アルガ如シ。

但シ生魚部ハ床面ノ水洗モカナリ良ク行ハルルニ至リ、バナナ醗酵室ノ排水モ十分行ハレアルガ如シ。

二、京都市水道

御所内ニ入り御料水トモナルハ蹴上ノ急速濾過ニヨルモノナリ、松ヶ崎貯水場ヨリノモノハ御所内消火栓ノ補助トサレ居レリ、兩者共琵琶湖ヲ源水トナシアル點ニ於テ(松ヶ崎ノ分ハ疏水支流ガ開放溝渠トナリ民家ノ間ヲ流下ス)又導水路關係ニ於テモ萬全トハ云フベカラズ(滋賀縣下ニ理由詳述)今後一層ノ注意ヲ要スルコトナラン。

想フニ中央食品市場ハ全市ヘ供給スル、生魚、鹽干魚、野菜等ノ一度ハ通過スベキ關門タルト共ニ、上水道ハ全市民ニ給水セザルベカラザル重大ノ意義アルモノナレバ日増シニ監督ヲ徹底シ行ク必要アルベシ。

尙ホ一時的ニ急速ニ増加セル尿尿處分ハ市當局ニ於テモ十分考慮中ナル由ナレド、豫メ十分ノ成算アル處置ヲ確立シ置カザルベカラザラン。

滋 賀 縣

滋賀縣ノ衛生事務監督ノ徹底ヲ缺ク嫌アルガ如キニ付テハ既ニ前回松尾技師ト同行シ視察復命セル中ニ述ベ置キシモ、京道上水道水源トシテノ琵琶湖ニ對スル取締ハ全然行ハレ居ラズト云フモ不可ナシ、如何ントナレバ、現在湖上ヲ南郷ヨリ坂本マデノ間(航行時間片路二時間)ヲ常ニ航行シツツアル汽船ハ乗客定員二百四五十名(賃人員時ニ三百名ヲ乘ス)ノモノ八隻アリ上リ下リ共各三十分毎ニ一隻ツツ雙方ヲ發シ、午前六時半ヨリ午後六時半頃マデハ間斷ナク運行シツツアリ、春私ノ遊覽時季ニハ更ニ八隻ヲ増シ十五分毎ニ發着ス、故ニ殆ンド間斷ナク、現在(十一月四日)ノ如キ三十分間ニ二隻以上ノ割合ニテ濱大津、三井寺下(京都第一疏水取入口)ノ發着所ニ着キ、唐崎、坂本間ヲ航走ス、小官ハ之ガ取締上ノ實際ヲ見ントシテ濱大津、坂本間ヲ汽船南郷丸ニ乗船シ視察セル結果左ノ實情ヲ知レリ。

1. 京都市、第一、第二疏水取入口附近ヲ航行スル際ト雖モ便所ヲ封鎖スルコトナク、乗船ノ自由使用ニ委セアリ、現ニ三井寺下棧橋着時ヨリ便所ニ入レルモノアリ。
2. 若シ該汽船會社職員(殊ニ船員)全部ノ檢便ヲナストモ、此ノ多數移動シ、シカモ短時間シカ乗船セザル旅客ノ檢便ノ如キハヨシヤ必要アリトスルモ實行ハ不可能ナラン。
3. 湖上ヲ航走スル太湖、湖南汽船會社船中重油使用ノモノハ一二隻ノ少數ナレド、常ニ汽罐ヲ冷却セル「コンデンサー」ノ水

ヲ「ポンプ」ニテ引キ船外ニ排出シ居レルガ、其ノ排水中ニハ油ノ浮游スルコト甚ダ多ク湖水面ヲ汚染シ居レリ、特ニ三井寺下棧橋發着時ニ放出スレバ疏水中ニ浮流シ行クヲ認メラル。

4. 第一疏水取入口ハ今日尙ホ荷船ノ船着場トシテ緊留船多シ。  
以上ノ事實ニヨリ、將來根本的ニ考フレバ、斯カル源水ガ水道水ニ適當ナルベキヤ否ヤノ點ナレド、之ハ今日論スベキコトニハアラズ、又斯ク汚染サレタル水ガ流下シ行ク中ニハ大量ノ水ニヨリ稀釋サレテ危害少ナキモノトナルベキコトモ考ヘラレ、更ニ沈澱濾過ノ操作ニヨリ有害物ハ除去サルナランモ、尙且少シニテモ安全ナルモノトシテ供給スルコトハ必要ナラン、仍テ此際姑息手段ナレド應急處置トシテ、濱大津、三井寺下、坂本間ヲ航走スル客船ハ便所ヲ封鎖シ使用セシメザルコト(此ノ間三十分内外ニシテ別ニ苦痛トナラズ)ヲモ考慮スベキモノニアラザルカ、シカモ防疫上ヨリ見テモ亦保健上ヨリスルモ、今日ノママニ放任スルハ(船員ノ檢便ハヨシヤ行ヘリトスルモ)如何ナルベキヤト思ハル。

大 阪 府

大阪府ニ於ケル御大禮關係事項中保健衛生關係事項トシテハ去十月二十五日附宮内省大膳寮ヨリ大阪府警察部ニ宛御大禮賜饌其ノ他原料購入見込ノ箇所ヲ指定シ可然依頼アリタルハ次ノ四箇所ナリ。

- 一、魚 類 大阪市北區樋之上町三八 本 田 甚 之 助
- 二、麵 麩 同市西區北堀江通二丁目三 マルキ號株式會社 水 谷 政 次 郎
- 三、鶏 卵 大阪府豊能郡池田町 愛國婦人會大阪支部養鶏場
- 四、鶏 大阪府泉南郡麻生郷村半田 西 納 毅 一

仍テ府衛生課ニ於テハ一、本田甚之助家族十二名、二、㊦パン製造所八十四名、四、西納毅一家族十名、及三、愛國婦人會養鶏所關係者等ニ對シ檢便ヲ行ヘルモ異常ナク、健康診斷ノ結果ニ於テモ憂慮スベキモノナシトノコトナリ、故ニ上述中一、二及ビ四ノ箇所ノ實況ヲ視察セリ。

(1) 魚類關係

魚類ノ御用命ヲ受ケシ本田甚之助ノ店ハ前記ノ場所ナルモ實際ハ西區阿波堀俗稱雜魚場籠治商店ノ店先キヲ借リテ雜魚場河岸ニ荷揚シ來リ荷造リノ上自動車又ハ特別汽車便ニテ京都へ持參上納ノ筈ニテ、御用命ノ確定シ居ルハ洋食材料ノミニテ一、鱒一尾五百々ノモノ、五百人分。之ガ原料ハ福井、石川二縣ノ漁獲地物トシ、豫備トシテ鳥取ヲ選ビ漁獲ノ上夫々飼養中ナリト。

一、車海老 五百人分。之ハ山口縣周防産ノモノ  
一、鯛 三百五十人分、及ビ尙ホ「スツボン」等小サキモノノ御下命モ改メテ御着京ノ上確定スルモノアリトノコトナリ  
納入ノ確タル時日ハ本人へハ未ダ通知ナシト、要スルニ聖上陛下御料及ヒ極メテ高貴ノ方々ノミノ御用ニ供セラルベキモノノ如シ。

小官ハ雜魚場ノ本店營業店ヲ視察セルニ同地域一帯ノ清潔保持狀況ハ良好ト云フベカラズ、且又雜魚場籠治ノ家族ヲバ檢便未了、同店舗ノ清潔狀況視察モ未済ナリシニヨリ國澤衛生課長ニ意ヲ通ジ雜魚場中關係區域ノ清掃問題ト共ニ考慮ヲ求メ置キタリ。府ニテハ今六日同地必要範圍ニ亘リ採便スト申出サレタリ。

(2) 麵 麴

⊕バン屋ト云ヘバ關西、京阪地方ニハ之ガ右ニ出ヅルモノナク全國第一ノバン工場ト云フモ過當ニハアラザルベシ、「イースト」ハ京都府下宇治町ニテ製造シ、土岐子爵ノ培養サレシ「イースト」ヲ使用シ小麥粉ト捻ネタル上、醱酵箱ニ入レタルママ醱酵セシムレバ三時間ニテ完全ニ醱酵スルヲ以テ之ヲバンノ大キサト長サノ燒箱ニ入レ自動裝置シテバン燒釜ノ大規模ナル裝置ヲ通過シ行ク間ニ除行四十分ニテ完全ニ燒キ上ル此ノ所謂食バン三千人分、及ビフキンガーロールノミナルガ、之ハ燒ケ上リ後別ノ箱入トシテ、トラツクニテ京都ニ送ル筈ナリ。

同工場ハ悉ク器械裝置ニヨリ、普通ノ煉瓦式バン燒竈トハ異ナリ良ク清潔ガ保タルコトナラン。原料ノ精撰、取扱上ノ注意等モ相當意ヲ用キラルル筈ナリ。

(3) 鶏

前記府下泉南郡麻生郷村ハ岸和田市ヨリ一里二十町近クノ所ニテ西納穀一ハ農家トシテ相當ノ舊家ナルガ如ク、同人ハ別ニ専門的知識ヲ有スルニアラズシテ中學校卒業後關東大地震マデ二箇年間東京ナル日本齒科醫學專門學校ニ在學、中途退學シ、歸農シ、昨年春頃ヨリ養鶏ヲ始メシノミ、其ノ特徴ハ暗室強制注入肥育法ニテ、鶏舎ハ新築ニハアラザレド相當新シキ一建物ヲ暗室トシ(換氣裝置アリ、床面ハコンクリート)其ノ中ニ小サキ鶏箱ヲ羅列シ中ヲ辛フシテ鶏ヲ縱ニ入レ得ベキ大サニ仕切リテ、下ニハ鶏ノ立チ得ル程度ニ中央ヲ板張トシ前後ヲ明ケ各箱ノ下ニハ「トタン」ノ糞受函アリ、木製部ハペンキ塗トシ清潔ハ十分保タレアリ、特別裝置ナル壓入式器具アリ、其ノ尖端ニゴム管ヲ着ケ之ヲ鶏ノ咀嚙ニマデ挿入シ之ガ充滿スル程度ニ朝夕二回強制給食シ運動モセシメズ肥育スルニ在リ。

目下百十五羽肥育中ニテ一羽ニ對スル期間ハ約一ヶ月ナリト、之ニヨリ肉質ヲ軟カクシ相當脂肪ヲモ沈着セシメ得ト云フ、飼料ハ玉蜀黍粉末、蕎麥粉、小麥粉、フスマ、牛乳、ソレニ木炭末ヲ入レテ水ニテ泥狀トシ給シツツアリトノコトナリ。鶏種ハ主トシテ日本種「シヤモ」ノ雜種ナリ。

先ヅ最初ノ納入トシテ來ル十三日午後十羽ヲ大禮使饗宴場饗饌係宛提出スベク、中立賣門ヨリ入門外裝消毒ノ上持込メトノ通知書大膽寮ヨリ達シ居レリ、之モ主トシテ御料用關係ト思ハル。

肉質ノ良否、飼育法ノ正否ニ付テハ既ニ御下命ノ今日ナレバ彼是言フベキニアラザルベク、一般清潔ノ點ニ於テハ鶏舎附近ハ別ニ差支ヘナキ様行ハレ居レリ。

輸送方法ニ付テハ生ケルママ持込ムベキカ、如何等問合セ中ニシテ、第二回以後ノ御下命ハ第一回納入ノ際改メテ申達セラレベシトノコトナリ。

右ノ場所ニ對シ大阪府ハ山口技師(獸醫)ヲシテ現場ヲ視察セシメアリ。

大津疎水取入口ニ關スル復命

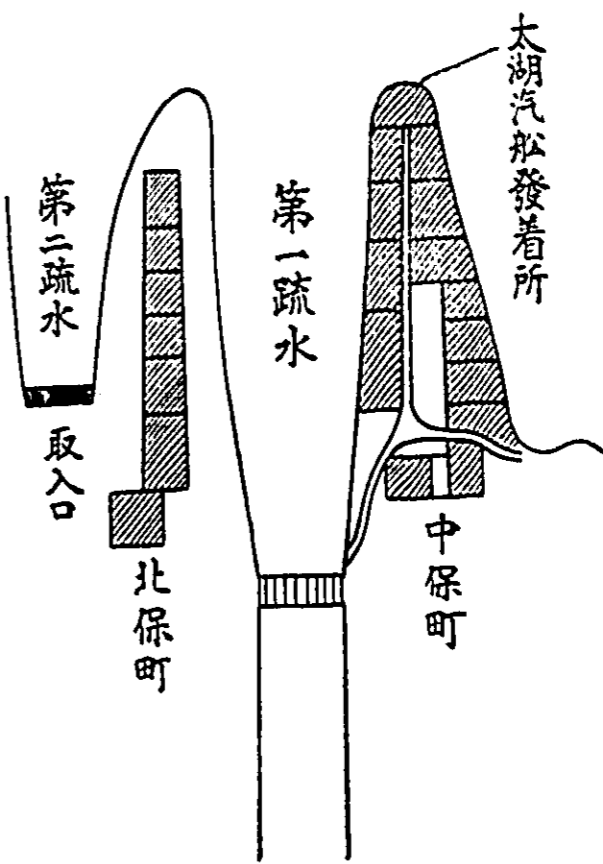
昭和三年十一月六日

防疫官 勝 俣 稔

十一月四日大津市ニ行キ京都市水道水源地タル疏水取入口ヲ視察セリ

第二疏水取入口ハ完全ニ外界ヨリ封鎖セラレ居ルモ第一疏水取入口ニハ疏水運航船及疏水取入口マテ來ル荷足船多數アリ四日午前十時第一疏水取入口ニ集リ居タル疏水運航船ハ十二隻、小荷足船ハ十三隻ナリ、右荷足船ノ集散ハ不定ナルモ大根産出時(十一月末)ヲ除キテハ早朝ヨリ午前迄ニ集マリ夕刻散スル由ナリ

疏水取入口ノ近ク民家十七戸(七十一名)アリ左圖ノ如ク中保町ノ左側第一疏水ニ面スル側ニ於テハ民家三戸ノ下水カ第一疏水ニ流レ込ミツ、アリ



北保町ノ民家ハ第一疏水取入口ニ於テ流場トシテ使用シツ、アリ共ニ汚染スルノ惧アリ前記七十一名中保菌検査ヲ了セシ者ハ水上生活者八名ノミナリ、少クトモ前部ニ涉リテ保菌検査及時々檢病戸口調査ノ必要アルモノト思考セララル

疏水運航船員ハ百十三名ニシテ保菌検査ヲ了セサル者新ニ其ノ職ニ就ケル者三名ヲ除キテ全部施行シ悉ク陰性ナリ尙家族同居者ニ對シテハ保菌検査ヲ施行セサルモ其ノ必要アルモノト思考セララル

湖水運航船會社ノ船員ハ太湖汽船ノ船員(十一月三日現在)百五十七人アリ、中保菌検査ヲ了セサル者三名アリ、湖南汽船會社船員

ハ十一月三日現在百二十三名アリ保菌検査ヲ了セザル者二十三名アリ

兩汽船會社ノ船舶ハ第一第二疏水取入口近クヲ航行スルヲ以テ疏水ハ汚水糞尿ニ依リテ汚染サル、惧アリ

荷足船ノ總數及其ノ乗組員ノ數ハ未調査ナルヲ以テ不明ナリ、荷足船及疏水運航船員ハ往々疏水取入口ニ於テ小便ヲ爲スコトアリト、荷足船員ニ對シテハ保菌検査數極メテ少ク七月中十八人、八月中二十一人、九月中十三人、十月上旬二十九人、同下旬三十七人ノ保菌検査ヲ了セルノミナリ

以上ノ事實ニ鑑ミ縣當局ト打合せ左記事項ヲ實施スルコト、セリ

- 一、疏水取入口ニ來ル船員特ニ荷足船ノ船員ノ保菌検査ヲ施行スルコト
  - 之カ爲メニ前圖ニ示ス北保町ノ突堤ニ見張所ヲ設ケ醫師一名監吏一名看護婦一名巡查一名ヲ配置シ、來航スル荷足船員ノ採便及健康診斷ヲ爲スコト右ハ五日午後ヨリ實行ス
  - 一、中保町北保町十七戸七十一名ノ保菌検査及時々健康診斷ヲ爲スコト右ハ前記ノ見張所ノ職員ヲシテ當ラシムルコト五日ヨリ實行シツ、アリ
  - 一、採便及其ノ検査ヲ了セル者ニハ採便検査證ニ其ノ後ヲ成績ヲ記入シタルモノヲ交附シ五日ヨリ實行セリ
  - 一、疏水取入口ニ來ルモノハ係員ニ之ヲ示スコト
  - 一、別紙(省略)ノ注意書ヲ疏水取入口ニ集ル船舶ニ交付シテ採便ニ便ナラシムルコト
  - 一、荷足船ノ調査及其ノ船員ノ採便ノ爲メ別紙(省略)ヲ湖畔二十五警察署長ニ通牒スルコト(四日之ヲ實行ス)
  - 一、疏水近クノ水上生活者ニシテ未タ保菌検査未了ノ者ニ對シテ即時之ヲ爲スコト(五日ヨリ實行ス)
  - 一、疏水運行者ノ家族同居者ノ保菌検査ヲ施行スルコト(五日ヨリ實行ス)
  - 一、前記兩汽船會社ノ船舶ハ疏水近クニ於テハ便所ヲ閉鎖スルコト
- 湖南汽船會社取締役支配人谷口清次氏縣衛生課ニ來リ打合せノ結果柳ヶ崎、濱大津間及濱大津淀泊中ハ便所ヲ封鎖スルコトヲ心良ク承知セリ又太湖汽船會社ニ於テモ濱大津坂本間及濱大津ノ碇泊中便所ヲ閉鎖スルコトヲ承知セリ共ニ六日ヨリ實施セリ
- 一、疏水取入口側北保町ニ便所ヲ作りテ人夫ヲシテ疏水ニ糞尿セシメサルコト
  - 一、大津市ノ糞尿運送ノ爲疏水取入口近クヲ航行スル船舶ヲシテ航路ヲ變更セシムルコト
- 静岡、愛知兩縣ニ於ケル衛生施設視察復命

昭和三年十一月七日

静岡県

防疫官 内野仙一 野邊地慶三

静岡縣ニ於テハ行幸啓御用辨當調進關係ノ衛生状態ヲ視察セルカ關係者一同ノ健康診斷並ニ保菌者檢索モ既ニ終了シ異狀ヲ認メサリキ

辨當調進所佐の春樓ニ於テハ一般清潔法特ニ良ク行届キ又家人調理人ノ健康状態モ良好ト認メラレタリ。但シ同家人ニ就キテハ念ノ爲尙一回ノ糞便検査ヲ施行スル様縣ニ注意セリ

愛知縣

名古屋市ニ於テハ行幸啓關係地衛生状態良好ニシテ行幸道路及離宮三丁以内ニハ十月十五日ヨリ十一月五日迄ニ傳染病患者ハ僅ニ猩紅熱二名、流行性耳下腺炎一名、流行性腦膜炎一名、腸チフス二名、麻疹一名ノ發生ヲ見タルノミナリ。保菌者ハ腸チフス一名、バラチフス一名存セシモ何レモ共ニ傳染病院ニ收容シアリタリ

御料品納入者其他大禮關係者ノ健康診斷並ニ保菌者檢索ノ結果ハ一名ノ急性傳染病患者モナカリキ。御料牛乳納入者愛養社並ニ御用辨當調進所魚半ニ於テモ營業従事者一同健康状態良好ト認メラレタリ。

以上静岡市並ニ名古屋市ニ於ケル所見ハ五日午前十時木下行幸主務官ニ電報セリ

京都市尿尿處分塵芥處分狀況復命

昭和三年十一月九日

内務技師 南崎雄七

一、沿道附近ノ該計劃

御沿道中最モ多數ノ奉拜者ヲ豫想セル京都驛ヨリ御所ニ至ル沿道ノ尿尿處分トシテ京都府監督ノ下ニ京都市ノ計劃セル方法左ノ如シ

- 一、既設ノ公共便所ニヨルモノ 十二個所
- 二、沿道附近適當ノ場所ヘ臨時葭簀張假便所 二十四ヶ所
- 三、沿道民家私有便所ノ一般使用ニヨルモノ 五百三十戸
- 四、沿道民家中空地ヲ有スル家ニ便器ヲ市ヨリ預ケシモノ 百二十戸

備考 右ノ内(一)ハ公設ニシテ常置ノモノ一個所ノ尿尿容積約一石二斗(二)ハ四斗樽三個ヲ以テ假便所ヲ造リ内一個

ハ婦人用ニ當ツ(四)ハ四斗樽百七十七個石油罐二百五十個ヲ配置セルモノナリ

而シテ之等ノ一般使用便壺ニ對シテハ十一月一日ヨリ五日ニ至ル間ニ於テ市費無料汲取ヲ行ヒ大體空虛ニナシタル上其后ハ行幸ノ前日及當日御通過后ヨリ夜ニカケ一齊汲取ヲ行ヒ搬出ノ計劃ニセリ。汲取ノ作業ハ近接郡村青年團員等ノ奉仕的勤勞ニ依ルモノニシテ毎日三百名并ニ市外搬出ニ出勤スル團員ヲ加ヘ約六百名乃至七百名ナリ汲取タルモノハ自動車(十一臺)馬車(三十三臺)ニ積替ヘ二ノ橋、十條其他ノ中繼所ニ輸送處分スルモノトス、作業ノ實際ニ當ツテハ七班ニ分チ各班ハ監視吏員指揮ノ下ニ御道筋道路掃除ノ作業ト合セ監視セシメタルモノトス

二、視察ノ實況

十一月七日行幸直後沿道ノ共同便所并ニ沿道民家ノ私有便所ノ使用狀況ヲ視察スルニ共同便所ハ何レモ滿溢シ爲メニ附近土壤ニ流出セルヲ見ル、一般民家モ便池ノ充滿セルヲ告ケ甚シク困却セルモノ、如シ其ノ一例トシテ小官等ノ視察ノ爲メ訪問セルニ先チ「用便ナラモ一駄目デス」ト先方ヨリ斷リヲナスモノアルニ見ルモ一般ヲ察スルコトヲ得尙便器ヲ市ヨリ預ケタル家ニテハ用器外ニ放尿又漏溢セルヲ甚シク迷惑ニ感シ居ルカ如シ其他行幸直后ノ兩側ニ於ケル奉拜者座席跡ハビール瓶其他ノ硝子用器ニ尿ヲ滿シタルマ、放置シ捨テタルカ如キモノ多數ヲ見受ケタリ、之等實地視察ノ結果ヨリ觀察スレハ行幸第一日ノ京都市沿道ニ於ケル尿尿處分法トシテ第一項記載セル市ノ計劃ニヨル設備ニテハ尙不足スルヲ認ム、而シテ當日ノ奉拜者ハ恐クハ市ノ豫定セル人員ヨリハ遙ニ多數ナリシモノナラン其他一般奉拜者ノ其ノ前夜ヨリ座席ニアリテ奉迎マテノ時間ノ長キニ亘レルモ又市ノ豫定尿尿量ヨリ實際ハ超過セルモノト認メラル、市當局ノ一人平均尿尿量豫定ハ一合二勺—一合五勺トシ奉拜者三十萬人ナリキ、其他一般民家私有便所ノ開放ハ尙一部徹底セサルモノ等アリシカ如シ

三、尿尿汲取ノ成績

沿道奉拜者解散后ノ共同便所及其他便池ノ汲取并ニ清潔保持清掃ノ狀況ヲ視察スル爲メ十一月八日朝沿道附近ノ共同便所臨時共同便所等ヲ實視セルニ何レモ汲取十分ニ行ハレ前日行幸直后ノ不潔ハ之ヲ認ムルヲ得ス流出セシ尿ノ溢レタル土壤ノ上ニハ

土砂ヲ敷キ且ツ消毒藥デシノ散布ヲ行ヒ相當ノ成績ヲ舉ケタルモノト認メラル  
四、塵芥ノ處分狀況

沿道ノ塵芥處分ハ市當局ニテハ行幸第一日ノ沿道ニ於ケル塵芥量壹萬貫ト豫定セシ所八日ノ實測ニ依レハ三萬一千四百六十貫  
トナリ遙ニ豫定ノ三倍ニ達セリ、之ニヨリ觀ルモ一般奉拜者ハ第二項ニ記セル如ク豫定ヨリ多數ノ奉拜者存シタルモノト想像  
スルニ難カラス塵芥處分搬出ハ最モ迅速ニ行ハレ翌曉迄ニハ殆ト完全ニ清掃搬出ノ運ヒニ至レリ

以上ノ狀況ニ依リ小官ハ右ニ記載セル實況ニ基キ次ノ行幸還幸等ノ際ニ於テ萬全ヲ期スル爲メ沿道屎尿處分ニ對シテハ更ニ適  
宜ノ施設ヲ講スル様府并ニ市當局ニ注意シタリ

附 行幸第一日京都市御沿道公設便所配置表

市ノ見積	便池ノ種類	個所數	一個所ノ容積	總石量
公設便所	便所	一二	一二	一四、四〇〇
臨時便所	便所	二四	一二	二八、八〇〇
一般民家便所	便所	四四七	〇、八	三五七、六〇〇
民家預ケ	四斗櫓	一七七	〇、四	七〇、八〇〇
	石油櫓	二五〇	〇、〇九	二二、五〇〇
計				四九四、一〇〇

一人平均座時間八時間トシテ一人尿量一合七勺  
奉拜人員三十萬トセシモノナリ

然ルニ警務課ノ奉拜者人員ハ五十萬ト稱シ一人平均座席時間ハ約平均一人十八時ト思ハル、ヲ以テ多大ノ不足ヲ見タル  
モノト思ハル

京都府愛知縣三重縣ニ於ケル救護施設狀況視察復命

昭和三年十一月十日

防疫官 龜山孝一

一、京都市ニ於ケル救護施設

京都市ニ於テ視察シタル救護施設ハ主トシテ御鹵簿御通過沿道ノ奉拜者ニ對スルモノニシテ十一月七日及同月二十六日即チ  
兩陛下東京ヨリ京都御着及ビ東京へ御還幸ノ當日ト、十一月十九日及二十二日ノ伊勢神宮御親謁、二十三日ノ神武天皇山陵御  
親謁、二十四日ノ仁孝、孝明天皇山陵御親謁、二十五日ノ明治天皇山陵御親謁ノ當日ト救護施設ノ配置及人員トヲ異ニシ、以  
テ拜觀者ノ數鹵簿御通過沿道ノ長短ニ依ツテ宜シキヲ制スルコト、ナシアリタリ

第一、十一月七日及二十六日ノ御鹵簿御通過沿道ニ於ケル救護施設

(一) 御苑内ノ救護設備

御苑内ニハ一般拜觀者ヲ入ラシメスシテ各種團體學校生徒及高齢者ノ奉拜ニ充テタルニ依リ京都市ヨリ設置スル救護所ニケ  
所、赤十字社ヨリ設置スル救護所ニケ所計四救護所ヲ配置シタリ

(二) 御苑以外ノ奉拜沿道ノ救護設備

(イ) 救護所

京都驛ヨリ京都御所ニ至ル烏丸通ナル鹵簿御通過沿道ニハ二十七救護所ヲ配置シタリ	即チ	京都府ノ設置スルモノ	七班
京都府ノ設置スルモノ		京都市ノ設置スルモノ	七班
赤十字社ノ設置スルモノ		京都府醫師會ノ設置スルモノ	七班
京都府醫師會ノ設置スルモノ		赤十字社ノ設置スルモノ	六班
		京都府醫師會ノ設置スルモノ	七班

右ノ外拜觀者ノ昇降ニツキニ條驛ニ京都市ノ救護所ヲ一ヶ所設置シ、非常ノ場合ヲ豫想シ豫備救護班三班ヲ設ケタリ  
府、市、及赤十字社ノ救護班ハ醫師一名、書記一名、看護婦二名、小使一名ヲ以テ組織シ、京都府醫師會ノ救護班ハ醫師四名

書記一名看護婦二名ヲ以テ編成ス

(ロ) 救療所

右救護所又ハ救護班ニ收容シタル病傷者ニシテ重症者アルトキ之ヲ收容スル爲メ救療所十ヶ所ヲ設ケタリ

其ノ配置及收容人員(京都府記事参照)

第二、御親駕行幸啓當日ノ奉拜沿道ノ救護施設

救護所ハ七日及二十六日ノ奉拜沿道ニ於ケル救護所ノ中京都府醫師會ノ設置スル七班ヲ除キタルモノヲ以テ之ニ充テタリ唯泉山御陵御親駕當日ノ奉拜沿道ニ對シテハ京都市設置ノ救護所四ヶ所、赤十字社設置ノ救護所一ヶ所ヲ配置シタリ救療所ニ關シテハ六日及二十七日ノ場合ト同様ナリ

第三、視察ノ結果ニ基ク改善意見

一、六日及二十七日ノ兩日ニ於ケル救護所ノ配置ニ就イテハ大體ニ於テ妥當ナリト認メラル、モ、京都驛前ヨリ東側即チ第二十三救護所烏丸通の場半井方京都市醫師會救護所ニ至ル迄ノ間ハ其ノ距離及向側ニ比照シテ考察スルニ救護所ヲ更ニ二ヶ所以上設置セシムルノ要アリト思惟セラレ

之ニ關シ京都府衛生課救護係ニ糺シタルニ其ノ方面ニハ救護所設置ノ必要ヲ充分ニ認メ救護所ニ充ツベキ建物ヲ物色シタルニ適當ナルモノナク已ムヲ得ストノコトナリ、依ツテ小官ハ移動救護班ヲ二ヶ所以上設置スヘキコトヲ希望シタルカ京都府當局モ之ヲ諾シ移動救護班二ヶ所ヲ配置スルコト、ナリタリ

二、神宮山陵等御親駕當日ノ救護所ハ前述ノ如ク府醫師會ニ於テ設置スル救護班ハ之ヲ廢止スルヲ以テ救護所ノ配置ハ粗密宜シキヲ得サルモノアルヤノ懸念アリ、依ツテ第二十四救護所ヲ第二十三救護所ノ場所ヘ、第二十二救護所ヲ第二十一救護所ノ場所ヘ、第十六救護所ヲ第十五救護所ノ場所ヘ夫レ夫レ移動セシムル様其ノ配置ニ就キ京都府當局ニ注意シ置ケリ

二、名古屋市ニ於ケル救護施設

一、名古屋市ニ於ケル行幸啓沿道ニ對スル救護所ハ縣ニ於テ設置スルモノ十五ヶ所、市ニ於テ設置スルモノ三ヶ所、赤十字社

愛知支部ニ於テ設置スルモノ四ヶ所合計二十二ヶ所ナリ

各救護班ハ醫師二名乃至三名、看護婦二名及ビ事務員一名ヲ以テ組織ス、尙狂犬病其ノ他牛馬ニ對スル警戒ノ爲メ獸醫一名ヲ中區新柳町三丁目新柳町巡查派出所ニ配置セリ、其ノ配置其ノ他ハ愛知縣報告ノ如シ救護班ノ配置ニツキテハ警察部長ヨリラデオニ依リ奉拜者ニ通告シタル由ナリ

二、右ニ對スル改善意見

名古屋市奉拜沿道救護所配置ハ大體ニ於テ適當ナルモ本町通西側ニハ四ヶ所ノ救護所アルニ比照シ東側即チ憲兵隊側ニハ僅カニヶ所ナルヲ以テ愛知縣衛生當局ニ糺シタルトコロ本町通東側ニハ軍隊塔列スルヲ以テ二ヶ所ニテモ可ナルヘシトノコトナリキ、然ルニ十一月二日新愛知所載奉拜者ノ位置圖ニ依レバ本町通東側ハ軍隊塔列ニ非スシテ市部女子中等學校生徒及郡部男子中等學校生徒ノ塔列スルコト、記載シアリタルニ依リ村島愛知縣衛生課長ニ對シ若シ軍隊塔列ニ非スシテ女子中等學校及男子中等學校生徒塔列ナルトキハ之ヲ西側ニ比照スルモ又救護ノ上ヨリ見ルモノニテハ少キヲ以テ救護所ノ増設ノ必要ナキヤ如何ニヤトノ小官ノ意見ヲ傳ヘタルトコロ同課長ヨリ別紙(省略)ノ如キ報告アリテ本町通東側ハ軍隊塔列ナリシモ後ノ男子及女子中等學校生徒塔列ニ變更サレタルヲ以テ應急處置トシテ移動救護隊組織シタル旨返信アリタリ

三、宇治山田市ニ於ケル救護施設

一、宇治山田市ニ於ケル救護施設ハ奉拜沿道ニ於ケルモノト御駐泊中ノ市内ニ於ケルモノトニ區別シアリ奉拜沿道ニ對シテハ縣及縣醫師會ニテ設置スル救護所九ヶ所内豫備班一ヶ、赤十字社支部ニ於テ設置スルモノ六ヶ所アリ、此ノ外齒科醫師會ニテ一ヶ所ノ救護所ヲ設ク

縣及縣醫師會ノ設置スル救護班ハ縣ヨリ醫師一名又ハ二名、醫師會員ヨリノ一名乃至二名ノ醫師、縣ヨリ配置スル看護婦二名、醫師會ヨリ配置スル看護婦一名及ビ書記一名、並ニ小使人夫夫レ夫レ一名ヲ以テ組織ス

一、御駐泊中ノ市内ノ救護施設ハ其ノ必要ニ應シ開閉ス救療所ハ市内ノ私立病院五ヶ所ヲ以テ之ニ充ツ



尙宇治山田市以外ノ御通過各驛ニモ救護班ヲ設ケ奉拜者ノ病傷ニ備フルトコロアリ  
二、右ニ對スル意見

大體ニ於テ良好ナリト認ムルモ各救護所ノ組織人員稍多キニ過クルノ感アリ

三重縣行幸啓衛生施設進行狀況復命

昭和三年十一月十四日

防疫官 飯村保三

本件ニ關シ豫テ毎日電話ヲ以テ概要報告申上候處御料蔬菜類其ノ他ニ對スル檢診檢便ノ狀況左記ノ之通ニ有之及報告候  
追テ去ル十二日到着後左記ノ範圍ハ小官親シク視察シ實際ヲ調査照合致シタルモノニ有之

一、新設御用牛乳搾取取扱所、山田市（娼妓病院）南勢病院內臨時縣細菌検査室、縣衛生課員詰所、縣消毒所

二、神宮司廳、內宮齋館、神部署、宮內供奉員旅館一、皇族旅館三、

三、魚類氷等納入者山下五郎兵衛宅及同專用市場、

（縣種畜場、縣農事試驗場ハ明十五日實地視察ノ豫定）

御料食品納入調

三重縣農事試驗場納入品

品目	數量	納入者	產地又ハ取扱店
米	一升		三重縣農事試驗場及阿山郡
白米	一升		西柘植村楯岡高瀬千代松
半搗米	六升		三重縣農事試驗場
里芋	一升		同
天王寺燕芋	六二個		同
黄芋	三〇〇目		同
菠薐草	八把		同

唐芋	六個		同
剝落花生	一斤		同
セリ	五株		同
大根	六本		同
菜豆	七〇〇本	津市千歲町八百政	同
トマ	四五個	同	同
キヤベツ	一個	同	同
洋人參	一貫	同	同
福神漬	小一罐	同	同
林檎	一〇個	同	青森縣産
レモン	五個	同	名古屋市枇杷島町角三商店扱
奈良漬	四枚	同	同
銀杏	一合	飯南郡朝見村朝田寺 榎本義雄	飯南郡朝見村朝田寺
松茸	三〇〇目		桑名郡大山田村播磨山
伊勢薯	五個		多氣郡津田村
密柑	二〇個	澁谷半左衛門	多氣郡佐奈村五桂
柿	二六個	花田新助 柑橋同業組合	度會郡五ヶ所村
バナナ	二四本	徳成農園	桑名郡益生村
梨	一〇個	八百政	津市榮町伊藤商店
		八百政	静岡縣産

他ノ蔬菜類ハ宮内省ニテ御持參

右蔬菜類ノ納入者ハ勿論、牛肉、牛乳、豚肉、若鶏、鶏卵、魚類等ノ納入者ニ就テモ健診、檢便ヲ施行シ遺算ナキヲ期スルハ勿論神宮司廳内宮外宮齋館職員、皇族供奉員旅館家族従事員、行在所出入者等ノ健康診斷檢便ヲ行ヒ遺漏ナキヲ致セリ  
京都府愛知縣ニ於ケル保健衛生施設並狀況視察復命

昭和三年十一月十五日

内務 山田正弘  
同 赤羽種  
同 吉武惠市

一、京都府

(イ) 屠場 京都市外市營屠場ニ於テハ御料ニ納ムル贖ノ屠殺ヲ爲ス設備アリ其ノ清潔方法等ハ概シテ良好ナリシモ一般人ノ出入及屠場外ノ不潔ノ點ナキニ非サリシヲ以テ市當局者ニ注意シ置キタリ

(ロ) 汚物掃除

A 塵芥焼却場 市外ニ於ケル京都市營塵芥焼却場ニ至リ其ノ焼却ニ關スル設備及取扱方法ヲ見ルニ取扱方法トシテハ大體支障ナカリモ焼却窯ノ内一個ハ破損シ直チニ使用不能ニシテ一日ノ焼却能率ニ影響アルヲ以テ大禮當日迄ニ於ケル市内ノ搬出スル塵芥ヲ完全ニ處分スルコトニ支障ヲ來タス虞アルヲ以テ市清掃課ノ下ニ注意シ修繕シ置ク様取計置ケリ

B 尿尿 ハ特ニ汲取度數ヲ増加シ當日參集スル拜觀人ノナス尿尿ハ各戸ニ交渉シ市ニ於テ汲ミ取ル計劃ニシテ之レカ實行上何等支障ナカリキ

(ハ) 水道設備

特ニ小島屬笠間屬ニ於テ周到ニ視察セラレシ後ナリシヲ以テ可成完全ニ行届キ居リタリ

(ニ) 其ノ他飲食物等

府衛生課ニ於テハ各警察署ニ通牒シ取締ヲ完全ナラシムルト同時ニ衛生課ニ於テモ隨時係員ヲ派シテ監督ノ任ニ當リ萬端行届キ居リタリ

二、愛知縣

(イ) 屠場 名古屋市押切屠場ヲ視察スルニ近々新築セラル、モ舊設備ナルヲ以テ多少ノ不潔ヲ免レサルモ大體各般ノ注意行届キ居タリ

(ロ) 肉掛場 御料ニ供スル肉掛場トシテ富澤町階樂亭ノ店舗ニ行キ監査スルニ餘リ清潔ナラス店主ニ對シ使用ノ際ハ特ニ清潔ヲ保ツ様注意シ置キタリ

(ハ) 汚物掃除

A 尿尿 ニアリテハ一日四千石汲取り郊外ノ百姓ニ販賣スルノ外近縣農民ニ搬出シ尙千種町赤萩ニ於テ淨化處理シツ、アリ稍完全ニ向ヒツ、アリタリ

B 塵芥焼却 飯田及中村焼却場ニ於テ設備ヲ完全ナラシメ市内ニ於テ日々搬出スル塵芥ヲ怠リナク焼却シツ、アリ遺漏ノ點ナシ、一宮市塵芥焼却場ニ對シテモ同様ノ成績ナリキ

(ニ) 水道設備 犬山町水源地ノ模樣ヲ視察スルニ犬山町住宅地ヨリ尿尿ヲ交フル下水ノ流入スルアルヲ以テ大禮中ハ特ニ下水ノ流入ヲ防止スル様計劃シ各戸ヨリモ下水ノ排出ニ關シ適當ニ注意シツ、アリトノコトナリ、犬山町ヨリ名古屋市東山貯水地迄配水路ノ適當ノ箇處ニ見張番ヲ置キ萬一ノ場合ニ處スル計劃ヲ樹立シタル外大禮當日水道係員ヲ臨時水道配水管ノ要所ニ置キ機宜ノ措置ヲ取ラシメトセリ

其ノ他水道ニ關シテハ一地方周到ノ注意ヲナシ宿直員等ヲ増加シ萬遺漏ナキヲ期シツ、アリ  
三、其ノ他一般衛生ニ關シテハ縣衛生課及各警察署ニ於テ萬全ノ注意ヲナシ可也成績良好ナリシト認ム。

宇治山田市衛生施設視察復命

昭和三年十一月二十八日

防疫官 内野仙一

三重縣宇治山田市ニ行幸被爲在ニ付、諸般ノ衛生施設ニ關シ、小官出張以前ニ山田衛生局長及飯村防疫官視察ノ上指導サレタル諸種ノ計劃實施ニ付テハ十一月十八日小官視察シタル所ニ依リ、左記ノ通り、在京都山田衛生局長宛ニ電報セリ

「御料肉保管所及御用牛乳搾取取扱場ハ完備セリ。尙檢便其ノ他衛生施設亦完了シ遺漏ナシト認ム、念ノ爲」

足掛四日間ニ亘ル行幸中ニ於ケル一般衛生狀況ニ關シテハ十一月二十二日發御ヲ奉送セシ後、小官當時奈良縣へ出張中ノ山田局長宛ニ「行幸中衛生關係ハ至極良好ニ經過セリ」ト摘要電報セシ以外ニ追加報告スヘキモノナシ

十一月二十七日付、縣ノ調査報告ニ依ルニ行幸中ニ於ケル拜觀者ニ對スル救護成績ハ三重縣ノ部參照

### 名古屋市衛生施設復命

昭和三年十一月二十九日

防疫官 内野仙一

御還幸ノ途十一月二十六日名古屋市へ御一泊アラセラルルニ付十一月二十四、五日同市ノ衛生状態及衛生施設ヲ視察シタル結果ハ二十五日在京都山田衛生局長及木下行幸主務官宛ニ左記ノ通電報セリ

「當地ノ衛生状態ハ至極良好ナリ猶諸般ノ衛生施設遺漏ナシト認ム」

癸二十一日四、五日同市衛生施設ニ關シ小官野邊地防疫官ト共ニ視察シタル當時ノ復命書ニ追加スヘキ一項トシテ茲ニ報告スヘキコトハ辨當調達所ニ關シコノ前ノ調達所ノ外ニ新タニ名古屋「ホテル」ニ對シ「サンドウキツチ」(豫算一圓)三百人分ノ調製方法文アリシコトノミトス

十一月六、七日及同月二十六、七日ニ於ケル名古屋市行還幸中ニ拜觀者ニ對スル救護成績ハ愛知縣ノ記事參照

## 八 京都市ニ於ケル衛生局出張所

昭和三年十月十五日ヨリ大禮衛生事務執務ノ爲京都府廳内ニ衛生局事務室ヲ設ケ十一月一日ヨリ衛生局長以下局員出張執務ス右出張所ニ於ケル局員勤務狀況左記日記ニ示ス如シ

十月十三日 土曜 晴

一、衛生局員出張事務開始打合ノ件

午前九時飯村防疫官佐々木内務屬ハ府衛生課ニ於テ衛生局員出張事務開始ニ關シ衛生局長室及衛生局員事務室ノ件協議ス

一、關係印刷物受取

衛生課ニ於テ從來調製セル冊子、其他ノ印刷物等受領ス

一、飯村防疫官ハ京都市保健部ニ市川保健部長ヲ訪ネ衛生局事務開始ニ關シ今後共必要ナル交渉及通報事項等ニ付協議ス

一、佐々木内務屬ハ京都市内及桃山ニ於ケル 陛下行幸啓御道筋並皇族旅館其他必要ナル標識記入ノ地圖作成

一、飯村防疫官ハ御苑内宮内省皇宮警察出張所ニ行キ衛生局出張事務開始ニ關シ通告旁々打合セテ爲ス

一、飯村防疫官ハ府山本防疫係長同道平〇高等女學校寄宿舎ニ行キ患者發生前後ノ狀況ヲ調査ス

(右調査復命別項ニアリ)

十月十四日 日曜 晴

一、朝八時半衛生局長及奥村内務屬來臨シ飯村防疫官列席警察部長室ニ於テ府衛生課長(大禮衛生部長)以下各主任(大禮係長)ニ付御大禮衛生事務ニ關シ從來ノ成績、事務進捗ノ程度今後ノ見込等ニ付各部内ノ各項ニ亘リ詳細聴取ス

一、衛生局小島雁來着、諸用品ノ整理ヲ爲ス

一、午後四時衛生局長、飯村防疫官ハ府衛生課長等ト共ニ京都府農林學校及府農事試驗場ニ行キ御料品栽培ノ模様養鶏ノ場所其他ノ付實地檢分ス

一、午後九時三十四分衛生局長及奥村内務屬歸京

十月十五日 月曜 曇

一、京都府警察部建物三階ニ衛生局出張事務開始ス

一、飯村防疫官ハ午後一時宮島宮内技師、松本皇宮警察出張所長同行宮内職員合宿所タルヘキ左記ノ箇所ニ付室數及便所浴室等ノ配置及既ニ府ト協定セル炊事關係ノ場所竝保菌調査等ノ關係ヲ視察及打合セテ爲ス

一、京都御所内皇御殿附屬建物内合宿所（省丁及傭人級約六〇人ノ豫定）

二、今出川通平安義會合宿所（雇員級約八〇人ノ豫定）

三、今出川通櫻橋財團合宿所（雇員級約四〇人ノ豫定）

四、七條通舊賀陽宮邸合宿所（判任官級約一八〇人ノ豫定）

以上視察狀況復命別項ニアリ

十月十六日 火曜 晴

一、飯村防疫官午前中京都府細菌検査所視察

一、飯村防疫官午後京都市蹴上京都市水道浄水場（京都御所内引用水道關係）視察

十月十七日 水曜（神嘗祭）晴

一、飯村防疫官御大禮衛生施設狀況視察ノ爲奈良縣ヘ出張即日歸廳

十月十八日 木曜 晴

一、飯村防疫官ハ午後市内錦小路山本方ニテ行フ大禮使造營部賄納入者竝從事員健康診斷及採便手續ノ狀況視察ス

一、飯村防疫官ハ猶ホ七條署管内野菜洗場實地視察ス

十月十九日 金曜 晴

一、飯村防疫官ハ神戸市及大阪市ヘ出張大禮關係衛生施設狀況調査ノ爲

十月二十日 土曜 曇

一、飯村防疫官神戸大阪ニ出張中ノ處本朝歸廳ス

一、御所隣接華族會館通勤者ニ猩紅熱發生シ其ノ現場及消毒狀況視察ス

一、飯村防疫官ハ御所内工匠寮出張所内宮内省出張所ヘ事務打合ヲ爲ス

十月二十一日 日曜 晴

一、飯村防疫官今朝三重、愛知兩縣ヘ大禮關係衛生施設狀況調査ノ爲出張セリ

一、喜島内務技手午後八時十七分著京セリ

十月二十二日 月曜 晴

一、喜島内務技手乳肉化製場、畜舎及畜犬取締事務ニ就キ目下ノ進行狀況聴取ノ上午前十一時御料肉關係屠場及畜舎ヲ視察セリ（右復命別項ニアリ）

一、松尾内務技師、保見内務技手午後七時三十分著京セリ

十月二十三日 火曜 曇

一、佐藤内務技師、伊藤内務屬今朝著京セリ

一、喜島内務技手午前京都市及其附近ニ移入スル牛乳ノ移入元、糞糞ニ關スル牛乳搾取元及同販賣元ニ付府ノ當該技師ト打合ヲ爲シ午後御料鶏卵關係ノ爲府立農事試驗場及牛乳一般取締狀況ニ就キ京都市北部竝其ノ隣接郡部ノ搾取及請賣所ヲ視察セリ

一、飯村防疫官三重愛知兩縣ヘ出張中ノ處午前十一時歸廳ス

一、松尾内務技師、保見内務技手府當局者ヨリ御大禮關係飲食食物検査ノ狀況聴取後市川京都市保健部長ヲ訪問、清掃課員及水道課員ト共ニ御大禮中ニ於ケル水道ノ手配及汚物處分ノ計畫ニ付事情聴取後十條尿尿處理現場視察セリ